

News Letter

「お腹の安心と内視鏡検査」

内視鏡検査で小さな不安を
大きな安心に

消化器科
上田 弘

がんは早くみつければ、それだけ治る可能性も生存率も高くなります。なかでも日本人に多い胃腸のがんには、内視鏡検査が早期発見につながる有効な検査方法のひとつです。しかも、早期がんであれば大きな手術をせずに、内視鏡を使った手術で取り除くことも可能となっています。医療技術の進歩によって、早期に処置すればがんは治せる病気になってきていますから、みんさんの健康と安心のために、早期発見・早期治療につながる内視鏡検査の定期検診をおすすめします。

「内視鏡ってとても大変な検査なのでは？」と思われている人、多いと思います。しかし、ふつうの内視鏡検査は10〜15分程度、場合によってはもっと早く済む検査です。検査前日は、夜9時からものを食べないように言われますが、お水は構いません。検査の際には苦痛をやわらげるための処置（のどの麻酔など）もしっかりとやります。

大腸内視鏡は胃の検査に比べ、検査前に少し工程が加わりますが、それは大腸の掃除をするためです。また、内視鏡の挿入でも、大腸は曲がりくねった長い器官だから胃よりも多少時間が

かかります。大腸内視鏡検査では場合によって、検査の際に粘膜切除やポリープ切除などの処置を行うこともあります。とにかく胃でも大腸でも、がんの早期発見・治療には内視鏡検査が欠かせません。からだに不安があるようであれば、検査を受けて大きな安心を得ることをおすすめします。



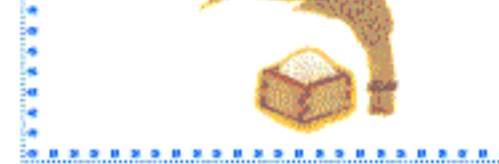
部署だより

外来・内視鏡室

内視鏡室では、月曜日から金曜日まで、午前は胃カメラ検査、午後は大腸カメラ検査（ポリープ切除含む）・気管鏡（月2回）やERCP他内視鏡的治療（食道静脈瘤硬化療法・早期胃癌内視鏡的粘膜切除術など）を行っています。

内視鏡スタッフは看護師7名（うち内視鏡技師3名）と受付2名が、検査や処置・治療が安全かつ安楽に受けられるよう、患者様に分かりやすく説明を行いながら検査介助を行っています。また、緊急検査・治療にいつでも対応できるように、夜間や休日には呼び出し体制をとっております。

外来患者数	17,214人
新患者数	2,134人
紹介患者数	301人
新入院患者数	482人
新退院患者数	490人
平均在院日数	18日
救急車・時間外患者数	1,624人
手術件数	164件



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。今回は、6月に立ち上げたばかりの、個人情報保護・患者満足度調査・待ち時間のワーキンググループについてご紹介しますが、日々の業務と並行して、少しでも成果を上げていきたいと思っております。

手術中の患者さんのご家族への対応について

● 手術中の患者さんのご家族へは、入院中の病棟の看護師が手術の所要時間のご説明や手術終了時の連絡をしております。手術の終了時刻は、状況によって予定とは異なることもあります。手術の状況についてご不明な点がおありでしたら、病棟看護師までお問い合わせください。

地域医療室経由で予約検査を受けられる患者さんへ

● 地元の医療機関から地域医療室を通して検査を予約された患者さんへは、一部の検査については説明書を地域の医療機関からお渡ししていただくことにしました。検査の種類により、検査終了までの所要時間、前日からの食事に関する注意などを記載しました。よりスムーズに検査を受けていただければと思います。

ワーキンググループ紹介

● 待ち時間対策
待ち時間短縮・苦痛軽減のために、現在部分的にパソコン・番号札による順番表示、予約・予約外の診察開始時刻の設定を実施。これらの方法の効果について聞き取り調査を実施する。効果の状況により、実施する診療科を増やすことなども考えていく。

ワーキンググループ紹介

● 個人情報
病院のあらゆるところにある患者さんの個人情報の管理体制を改めてチェックするために、部署にある個人情報の内容、管理・保管方法の報告を依頼。
● 患者満足度調査
今年の冬に実施した満足度調査の結果の概要が届いた。満足度は、入院で高く、外来で低い傾向にある。今後内容を分析し、改善策を立てていく。



ご意見の集計 17年6月1日～17年6月20日回収分

- 接遇について(6件)**
 - 手術が続いているのか終わったのかわからない。
 - 患者がたった2人しかいない状態で、1分ほど前に受付をした患者さんがすぐ横に立っているのに大きな声で呼ぶのはなぜ？ 患者を見ていない。
 - 耳鼻科にかかったとき、医師の対応に腹が立った。
 - 酸素濃度を測るときに子供が動いたら、年配の看護師にムツとした対応をされた。さらに「これくらいのことにはよくある」とも言われた。翌日39度の熱を出して再度受診したのに。夫は7階に入院しているが、スタッフはとても優しく接してくれる。若い頃を思い出して初心に戻ってほしい。
 - 外来受診した家族を迎えに来たが見当たらない。ブロック受付に聞くと「診察は終わった」とのこと。再度「点滴があるかもしれないが…」と尋ねたが「点滴はない」との返事だったので、放送も依頼し、2時間探した。偶然発見でき、居場所を聞いたら「点滴をしていた」とのこと。受付ではなぜわからなかったのか？
 - 小児科を受診するよう言われ、長時間待って受診。すると外科を受診するよう言われた。順番は2番と言われたのに後回しにされた。診察の結果は同じ診断だったが、複数科を受診したため料金が高くなった。
 - 待ち時間について(3件)**
 - 朝9時半の予約で現在14時。検査が終わり、まだ診察待ち。こんなに待つなら前もって言ってもらえないと困る。
 - 診察も会計も待ち時間が長い。正午になると会計は1人でもとても忙しそう。
 - バスの通院患者さんは、自家用車で通院する人よりも待ち時間に対して余裕を持ってないはず。臨機応変な対応してほしい。
 - 院内システムについて(2件)**
 - 一度保険証を見せても再度確認されることがある。パソコンによる連携ができていない。
 - 診療科ごとに問診表の記入が必要で面倒だ。診察券との順応性が全くない。
 - 個人情報について(2件)**
 - 患者の病名を知人に言う看護師がいる。そしてきたならしいし、あいさつしない。
 - 妊婦指導の会話が聞こえる。相談・指導内容を考えるともう少しプライバシーを守れる場所にしてほしい。
 - 医療技術について(1件)**
 - 採血のとき痛い。時々しびれを感じる。腕を磨いて下さい。
 - 禁煙について(1件)**
 - 屋上の吸殻の掃除及び禁煙の徹底を。病院も「少しくらいは」と喫煙を許しているのでは？
 - 感謝(1件)**
 - 小児科の医師はいつも来てもニコニコして感じが良い。皮膚科も4時間待ったが、医師の笑顔に救われた。
- 合計16件でした。

病院の理念

- 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指す。
- 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

- 正確で間違いのない医療
- 十分に説明をする医療
- 透明性を大切にする医療
- 患者さんの希望を大切にする医療

季節の食卓

「良薬口に苦し」
最近では全国的に出回るようになってきたが、うりやいしは沖縄ではゴーヤと呼ばれる。豆腐と炒めたゴーヤチャンプルーが長寿料理として有名です。にがりの苦味成分は胃壁を刺激して消化力を高めます。栄養的には免疫力を高めるビタミンCが非常に多く、トマトの5〜6倍の含有量です。また炒めてもほとんど消失しないという利点があります。
また、糖質をエネルギーに変えるピタミンB1や、筋肉の動きをよくするカリウムを多く含むので、夏の疲労回復に適した食材といえます。
調理は縦半分を割り、中の種とわたを取り除いて使います。あくが強いので切った状態で軽く塩をふって揉むと苦味が少し薄らぎ、緑の色が鮮やかになります。油と相性が良く、炒め物にしていただくのもお薦めです。



実は、当院にもありました。

研修予定

- 8月20日 看護部研修会
- 「クリニカルパス導入のコツ」
- 「DPC導入の看護への影響」
- 8月23日 感染対策研修
- 8月29日 MCカンファレンス
- 9月5日 ACLS研修
- 9月6日 医療安全研修
- 9月10日 医療安全研修
- 9月12日 感染対策研修
- 《患者様向け》
- 8月25日 母親学級
- (分娩経過と呼吸法)
- 乳房マッサージ・病棟案内
- 9月6日 糖尿病教室
- (運動療法)
- 外食・嗜好品の注意点

幡多けんみん病院における、患者さんの権利

- 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
- 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
- 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
- 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
- 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

医師の異動

泌尿器科
福原 秀雄医師に代わり、庵地 孝嗣（あんち たかし）医師が赴任しました。
小児科
森田 英雄副院長に代わり、武市 知己（たけち ともしみ）医師が赴任しました。